

科 目 名

建築設計製図Ⅴ

Architectural Design and Drawing Ⅴ

3年 前期 2単位 必修

内丸 恵一・藤本 睦夫
西山 英夫

概 要

本講では、各自の将来における志望する分野や建築の指向性の違いに応じて、以下の二つのコースに分けて指導する。

- Aコース：計画設計製図：公共建築の設計を通じて設計能力のさらなる向上をめざす。
- Bコース：実務的製図：基本設計から実施設計、施工管理への過程を理解するとともに実務的製図能力を養成する。

学生は上の二つのコースのどちらかを選択する。

学習目標

- ① Aコースは、これまでの課題では扱わなかった規模が大きく公共的機能を持つ建築の設計を通じて、建築能力のさらなる向上をめざす。建築設計の分野を目指す学生には、必須の科目である。
- ② Bコースは、建設会社から特に要請される建築施工管理のための基本的知識の獲得をめざす。建築の施工管理を指向する学生には必須の科目である。

授業計画

テ ー マ	内 容
Aコース：建築設計を行うコース	
前半と後半で二つの課題を設定する。(前半：オフィスビル、後半：美術館)	
① 課題説明と設計の要点の解説	
② 敷地の読み取り	学生みずからが行う敷地の調査。
③ 計画内容の提案	基本的なコンセプトや提案する機能の検討。
④ 建築設計のスタディー	平面、立面、断面の検討。コンセプトへのフィードバック。スタディー模型の作製。
⑤ 製図	プレゼンテーションのための図面と模型の作製。
⑥ 講評会	
Bコース：実務的な設計技術を知るコース	
基本設計から実施設計、施工へと至る一連の建築実務の過程への理解を深める。	
① 実務設計過程について	基本設計・実務設計・施工のプロセスの講義。
② 建築構造図について	基礎伏図、床梁伏図などの構造図の製図を通して、建築構造に関する製図技法の修得。
③ 意匠系実施設計図について	平面詳細図、断面詳細図などの製図を通して、実施設計に関する製図技法の修得。

授業方法

- Aコース：学生自身による計画案の作成。それをもとに教員との個別のディスカッション。
- Bコース：製図室での学生の図面製作を教員が指導する。講義と個別指導の組み合わせ。

評価方法

- Aコース：最終的な計画提案の内容、発表会でのプレゼンテーション、課題を通じての学生の伸び、これらを含めて総合的に評価する。
- Bコース：提出図面と締め切りの遵守により評価する。

教科書・教材

教科書：なし

参 考 書

コンパクト建築資料集成（日本建築学会 編、丸善）
その他学生により個別に教示する。

履修上の注意

- Aコース：教員との個別の協議と発表会には絶対に欠席しないことが前提である。この科目では、学生各自が意欲的かつ積極的に取り組むことが、特に求められる。
- Bコース：絶対に欠席しないこと。まじめに取り組むこと。